

2021年10月1日

報道関係各位

平和不動産株式会社

HOTEL K5
『AHEAD ASIA 2021』
「HOTEL CONVERSION」部門で受賞

平和不動産株式会社(代表取締役社長:土本清幸)が推進する日本橋兜町・茅場町再活性化プロジェクトにて生み出された施設「HOTEL K5」が、イギリスのホテルデザイン誌「Sleeper」が主催する「AHEAD ASIA 2021」において「HOTEL CONVERSION」部門で受賞しました。

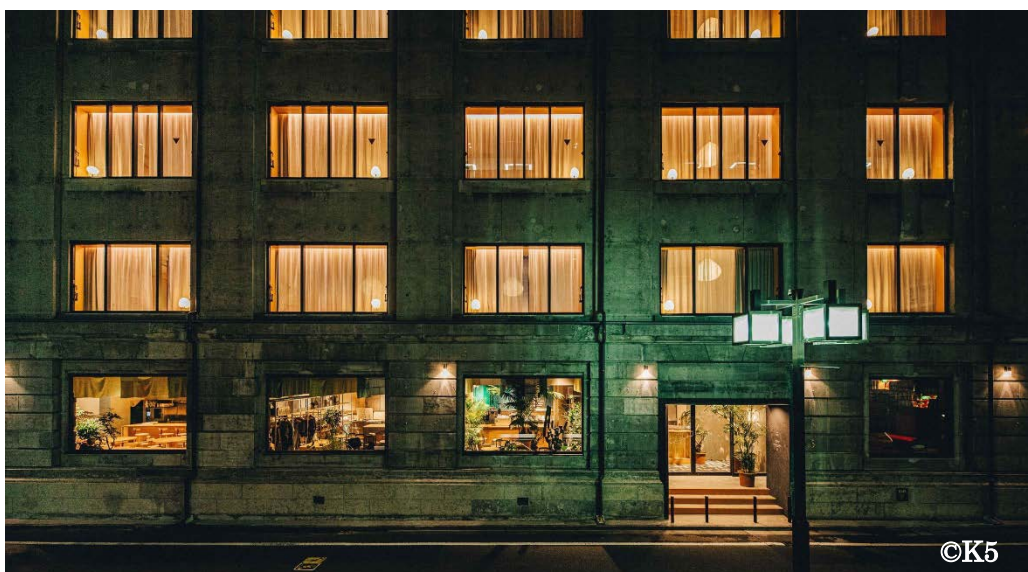
■平和不動産の街づくり

「HOTEL K5」は平和不動産が進める街づくりの1stステージにおいて、街を変化させる起点として誕生した施設です。

今回の受賞では、本施設が、もともとの建物自身に宿る魅力を受け入れ、真に称賛する姿勢、そしてホテルが提供する自信に満ち溢れたおもてなしの中に、オリジナリティがにじみでいると、高く評価頂きました。

平和不動産では、街にある良質のストックを活用し、リノベーションなどを通して新たな価値を創り出す取組を再開発ビルの計画とあわせて推進しています

※「AHEAD AWARDS」は、全世界の宿泊施設の中から、デザインや体験、ホスピタリティなどにおいて高い評価を得られた施設に贈られる賞です。



HOTEL CONVERSION

HOTEL K5 TOKYO, JAPAN

Ferment Inc. / Claesson Koivisto Rune Architects

<https://www.aheadawards.com/asia/2021/winners>

K5

兜町は、明治以来、「コト始めの街」「投資の街」「証券の街」としての地歴を有し、時代時代のイノベーションが起こり、投資家が集い、様々な情報が交流する舞台となってきました。こうした歴史的な背景などを踏まえ、当社は「人が集い、投資と成長が生まれる街づくり」を街づくりのコンセプトとして掲げ、兜町の持つポテンシャルと周辺の街の機能との融和による「兜町らしさ」の再構築を目指しています。

複数の要素を集約する当施設「K5」は「Revitalize～新しい生命を吹き込む～」をコンセプトに、小規模ながらも時代をリードするマイクロ・ディベロップメントと位置付け、空間全体で、人の五感を刺激する施設を目指しています。

本建物は、大正12年(1923年)に竣工し、その後1980年代に鋼板パネルで覆われた状態となっていました。設計者が西村好時氏であること、渋沢栄一翁により1873年に創設された日本初の銀行(第一国立銀行)の三代目建物の分館として建築されたことから、本建物の当時の姿をもう一度表し、魅力的に活用するため、大規模リノベーション工事を実施しました。

当社は本施設に様々な目的を持って訪れることが、「この街全体に訪れてもらうきっかけづくり」となっていくことを願っています。

◇DESIGN

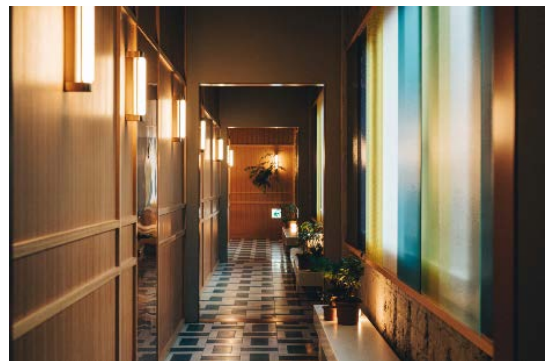
建築・空間デザインを監修したのは、スウェーデンストックホルムを拠点に活躍する建築家パートナーシップ「CLAESSON KOIVITO RUNE(以下 CKR)」。

歴史的建造物の重厚感を尊重しつつ、北欧と和のテイストが絶妙なバランスでブレンドされた新しい空間を演出しています。

地下1階～地上1階は「K5」のみで体感できる斬新な飲食機能が、地上2～4階はブティックホテル「HOTEL K5」が入ります。「動」(地下1階～地上階)と「静」(地上2～4階)の対比を体感することで、感性が開かれるようなエクスペリエンスを提供したいと考えています。



・ホテルの一般的な空間構成とは一線を画す、シームレスで曖昧な空間づくりがコンセプトの一つ。1階のレストランからコーヒーショップまでを途切れさせず、自然と視線が流れる空間となります



・客室前の廊下部分と客室内のタイルを統一し、それを客室ごとにパターンを変えることで、客室と廊下の境目があいまいになり、一つの空間として繋がっているように感じる工夫が施されています。

NEWS RELEASE

◇K5 フロア構成とテナントについて

B1 階

「B」(ビー)/ (ビアホール)

ニューヨーク初のクラフトビールブランド Brooklyn Brewery の世界初のフラッグシップ店。多種多様な Brooklyn Brewery のビールを片手に楽しめる様々なコンテンツが予定されており、足を運ぶたびにその姿を変える場所となります。



1 階

CAVEMAN / (レストラン)

日本、フランス、デンマークなど多様な文化によって創発された東京・目黒の人気レストラン「Kabi」の新しいレストラン。国籍に囚われない、見たこともない料理の数々をナチュラルワインやビールと合わせて提供します。また「HOTEL K5」の朝食も提供します。



AO(アオ)/ (バー)

田中開と野村空人の両氏がプロデュースするライブラバー。アジアのお茶や漢方をベースにしたカクテルを提供します。滞在する人への癒しとなるようなメニューで、室内は本棚に囲まれている空間となっており、本を読みながら、様々なドリンクを楽しむことができます。日中はティーサロンとしても営業します。

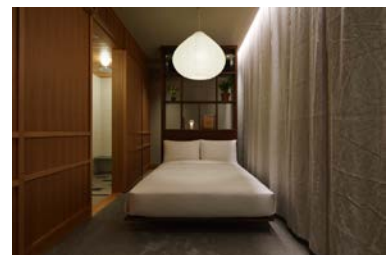
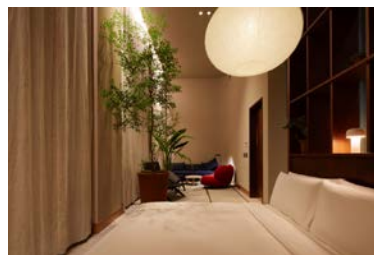
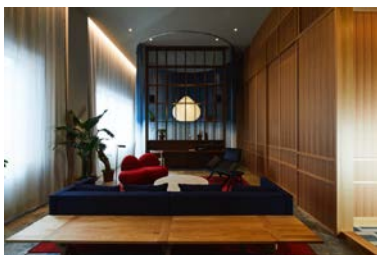
SWITCH COFFEE / (コーヒーショップ)

目黒、代々木八幡に店舗を構える人気コーヒーショップの 3 店舗目。エスプレッソやカフェラテ等の他シングルオリジンのドリップコーヒーを用意。朝から夕方まで何時立ち寄っても手軽に質の高いコーヒーを提供します。

2~4 階

HOTEL K5

2~4 階を占めるブティックホテル「HOTEL K5」は、全 20 部屋と小規模ながらも安らぎとインスピレーションを同時に提供する、ハイエンドブティックホテル。建物が醸し出す重厚感ある外観と、東京に点在する自然そのものからインスパイアされ、先鋭的でありながらも、その場所における時の重なりや日本の伝統を意識したタイムレスなデザインをコンセプトとしています。



◇施設概要

施設名称 : HOTEL K5 (RC 造 地上 4 階、地下 1 階)
 運営者 : FERMENT Inc
 インテリアデザイン : CLAESON KOIVISTO RUNE
 植栽デザイン : 株式会社 Yard Works
 設計施工 : 株式会社 ADX
 メール : info@k5-tokyo.com
 ウェブサイト : http://k5-tokyo.com
 インスタグラム : http://www.instagram.com/k5_tokyo

NEWS RELEASE

■日本橋兜町・茅場町再活性化プロジェクト 街づくりタグライン

<https://www.heiwa-net.co.jp/news/filedownload.php?name=67b78ebdeabb81a8ece33e18f85cafe2.pdf>

■日本橋兜町・茅場町再活性化プロジェクト 街づくりタグラインロゴ

起点であり、
輝点となる。

日本橋 兜町・茅場町再活性化プロジェクト

街をつなぐ、黄金色のタスキ

「コト始め」の情熱をつなぐ街として、
人と人、人と街、時代と時代をつないでいく象徴として、黄金色のタスキを掲げ、街づくりにいかしていきます。
黄金色のタスキは、この街のいたるところで自在に形を変えながら、街に訪れるすべての人々を歓迎し、つないでいきます。

■日本橋兜町・茅場町再活性化プロジェクト SDGs(持続可能な開発目標)への取り組み

ハード、ソフト、情報など多様な側面から、持続可能な社会の実現に貢献する具体的な取り組みを実現させていただきます。





平和不動産



**SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS**

平和不動産は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています

※その他日本橋兜町・茅場町再活性化プロジェクト情報発信サイト

- Kontext : <https://kontext.jp/>
- 兜 LIVE! : <https://kabuto-live.com/>
- FinGATE : <https://www.fingate.tokyo/>



以 上

【本件に関するお問い合わせ先】
平和不動産株式会社 開発推進部
担当: 伊勢谷
TEL 03-3661-7771